

# 不撓不屈

普天間中学校だより  
第5号  
令和3年9月10日

## 教育目標

平凡を非凡に努め、不撓不屈の精神で何事にも挑戦し、自己実現に向かう生徒の育成

# 得意なことに磨きをかける

## 判断基準を「正しい」から「美しい」へ

9月1日(水)、5日間延長された夏休みが終わり、学校に生徒たちの笑顔が戻ってきました。この日、感染症対策のため放送による2学期始業式を行いました。以下に校長式辞、各学年、生徒会代表あいさつの一部を紹介します。

【式辞(抜粋)】佐伯 進

夏休み期間中、東京オリンピックで様々な競技が繰り広げられました。中でも、私にとって、感動と学びが大きかった競技は、女子バスケットボールです。身長が、大きく物言うこの競技において、彼女たちは自分たちの得意技、スキルを磨いて、世界に立ち向かいました。スピードや運動量、正確なパス回し、スリーポイントシュートの成功率を上げ、銀メダル獲得の大躍進となりました。この偉業を成し遂げることができたのは、常に「自分ができる。私たちならできる。」と信じて、練習を重ね、技術を徹底的に高めたから



です。このチーム・監督から私たちが見習うべき姿勢を、学ぶことができます。人は、越えられない壁があると、それを乗り越えようと挑戦することを避け、不平や不満に終始することが多くなりがちです。長い2学期には困難もあると思いますが、みなさんには自分の、そして自分たちのできること、得意なことに磨きをかけ、大きな壁を破れるように力を合わせてほしいです。そして、「自分ならでき

る。」「私たちが乗り越えられる。」と信念を持って、様々なことに挑戦していきましょう。

【1学年】津堅厚太郎  
前学期を振り返り、1年生のいいところは、出身小学校関係なく仲良くできたところです。新入生歓迎球技大会では、女子の試合を男子が応援するなど、男女の仲の良さも見えました。一方、改善点は、先生やリーダーに指示されてから動くなど、行動が遅かったところですね。その点を踏まえて、2学期は、合唱コンクールなどの行事もあるので、言われて行動するのではなく、自分達で考えて行動できる学年にしたいです。



【2学年】首藤 凜  
夏休みに入りコロナが拡大してしまい、部活動ができなくなりました。なので、この2学期は、部活を頑張ろうと思います。



学習面では中間や期末テストに向けて勉強を頑張りたいです。また、生活面では、コロナにかからないよう、こまめな手洗いや消毒を心がけます。他にも、「合唱コンクールで金賞を取る」など、皆さんも2学期の目標を立てて頑張りましょう。

【3学年】大城凌屋  
僕は、夏休み期間中、体力維持のため毎日走っていました。もちろん、受験生としての勉強も頑張りました。



1学期は、皆仲良く静かに授業を受けることができました。しかし、発表力が弱かったため、今学期は、発表に力を入れて頑張りたいと思います。

2学期に楽しみにしていた修学旅行が中止になって残念でしたが、その分、日々の学校生活を十分に楽しめるように取り組みたいです。そのためにも、男女の仲が良くなると思います。受験生として、全員が第1希望の高校へ合格できるように必死になつて勉強に励みましょう。



【生徒会】成海結愛  
2学期は、3年生にとつてはとても大切な学期です。全員が気を引き締め、希望する道に進めるように頑張りましょう。また、1・2年生は、3年生になって苦勞しないように、授業態度や学習面、部活など、何事にも一生懸命

取り組みましょう。

2学期も、「有希改進」のスピーカーの下、生徒会一丸となって一つ一つの行事を全校生徒が楽しめるように頑張りますので、皆さんも、協力よろしくお願いします。

## 保護者の皆様へお願い

拡大する新型コロナウイルスの第5波ですが、インド由来のデルタ株に、ほぼ100%置き換わりました。このデルタ株は、感染力が非常に強く、低年齢の子ども(中学生含む)にも容易に感染するという特徴をもっています。ですから、これまでに以上に感染症予防への協力をお願いしたいと思います。特に、次の点には注意してください。

①毎朝、家を出る前に必ず検温し、少しでも体調に異変がある場合は、絶対に登校させないようにしてください。②家族に発熱や風邪などの症状がある場合も、登校を控えさせるようにしてください。

## 判断基準を正しいから美しいへ

狩俣倫太郎さん執筆の9月4日沖繩タイムスのコラム「うちなあ見聞録294」を拝読し、感銘を受けました。「正しい事」は、他者との分断を生み、時には争いに発展する。「美しい事」は、時間的な耐性が強く、普遍的である。自身の判断基準を「正しい事」よりも『美しい事』にしてみれば……「コロナ禍の今、大切な心の持ちようを教えてください。(裏面掲載)